

## 脳神経外科

## 夏に気づかれにくい脳梗塞

めまいやふらつき、ろれつが回りにくいなど、軽い脳梗塞の症状は熱中症の症状と間違われやすく、様子を見ているうちに発見が遅れることがあります。動脈硬化が原因の脳梗塞は、初期症状が軽い場合が多く、脱水などをきっかけに発症するので、特に夏に注意が必要です。夏は熱中症になると脱水や血圧低下が起こりやすく、脱水になる

と血液がネバネバになり血栓ができやすくなります。また、血圧低下になると血流が途絶え、詰まってしまいます。高血圧、糖尿病、脂質異常症、不整脈、喫煙習慣などの危険因子を持っている人は、脳梗塞が起こりやすくなります。軽い脳梗塞を「熱中症だろ」と思い込んで見逃さないよう、特に顔や腕、脚の片側だけに症状が現れたら注意が必要



**石田 和彦**

■ 脳神経外科・整形外科  
**いしだクリニック**

柿生 百合丘小  
スーパーサンワ

百合ヶ丘 南口  
ゆりストア  
第2児童公園北側  
第1団地前

☎044-955-0250  
麻生区百合丘2-7-1  
<http://www.ishida-clinic.or.jp/>

です。そのときは血圧を測ってください。脳梗塞では高血圧、熱中症では低血圧気味になるのも判別になります。夏はこまめな水分補給で体調を管理し、熱中症や脳梗塞を予防しましょう。